

PTA 研修視察旅行報告書

平成 25 年度 11 月 1 日 (金) 発行



(訪問日) 平成 25 年 9 月 4 日 (水)

(訪問先) ○新潟県立大学

○新潟大学医学部保健学科

○新潟県立新潟高等学校

〈 目次 〉

- ・参加者感想 P 3 ~ P 7
- ・アンケート集計結果 P 8 ~ P 1 0
- ・編集後記 P 1 0

【行程】

燕中等教育学校	集合	8 : 5 0	
	出発	9 : 0 0	(借上バス移動)
新潟県立大学着		9 : 5 0	説明・視察 (1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0) (借上バス移動) 昼食 (~ 1 2 : 3 0)
新潟大学			
旭町キャンパス着		1 2 : 5 0	説明・視察 (1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0) (借上バス移動)
新潟高校着		1 4 : 5 0	説明・視察 (1 5 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0) (借上バス移動)
燕中等教育学校着		1 8 : 0 0	

《参加者感想》

- * P T A研修視察は3回目の参加になりますが、今回は2大学+1高校でとても効率よく回れたと思います。新潟県立大学及び新潟大学医学部保健学科とも初めてで、県立大学は、特に独自性及び生き残る為に国際色を積極的に表現している事が良くわかりました。保健学科は、国立だけあって、設備の古さが目に付き、国立医技短時代とそう変わらない感じがしました。文科系の子供をもつ親としてはとても参考になりました。

最後の新潟高校は、校舎も設備も中庭も全てが素晴らしく、このような環境で学習できる子供達は非常に恵まれていると感じました。中学時代に、勉強や学校活動を頑張った結果、このようなご褒美があるのかなと思いました。せめて、燕にも、設備予算が少しでも配分されればなあと思いました。あと、医学部関係者にしか利用することの出来ない有壬会館にてのお食事を段取りいただいたり、道中のバスの中及び新潟高校のいろいろな設備について、事細かにフォローの説明をいただきました遠藤教頭先生には大変感謝しております。また、毎回P T A行事にお茶菓子をご提供いただいております龍道P T A会長にも非常に感謝しております。ありがとうございました。

- * 今回の視察旅行の中で正直言って一番興味のなかったのが新潟高校でした。今さら行ってもという感じで。けれど、バスが到着した瞬間からそれが一変しました。学校とは思えない外観の校舎が目飛び込んできて中に入ると真紅のカーペットが広がり、まるでホテルの様でした。ガラス張りの吹き抜け、広々とした空間、校内全部がぜいたくな



造りで、これがかの有名な“ケンタカ”なんだ、さすがに新潟県で最高の学校だけのことはあると痛感しました。改めて現状を考えた時に改修工事を順次行っている我校をあれと同等の校舎にしてもらうというのは不可能であると容易に推測されます。ならばあとはソフト面でカバーするしかありません。それならば可能ではないかと思われま。幸いにも我校には優秀な先生方が揃っております。なので今以上の御指導を大いに期待しています。勿論私も保護者として出来る限りの事をしていこうと思っております。最後になりましたが、貴重な経験をさせて頂き有難うございました。

- * 子供の為にかどうか自分がすごく興味があり今回参加させていただきました。まず、県立大ですが私達の頃の県立女子短大が、そのまま4年制大学に・・・といった感じでしょうか。女の子で資格が取得でき県内で就職を望むなら選択枠の1つとして考えても良いのかなと思いました。次に新潟大学ですが研究室等見学してみると最新の設備導入等が難しい国立大学の状況を目の当たりにすると、バスの中での遠藤教頭先生の話もありましたが最新設備の整った私大への受験も子供の為には良いのかなあと考えさせられました。

最後に新潟高校ですが、まずすばらしい環境の中で勉強に専念できる子供達。同じ県立高校でこうも違うものかと。あの視聴覚ホールには驚きでした。ただ最近では志望校を下げない傾向があるとのことで浪人してもう一度チャレンジという生徒が増えていそうで、数字だけ見ると減ってきているなあというのが率直な感想です。

- * この度、PTA研修視察旅行に参加させていただき、ありがとうございました。ご準備ご協力いただいた先生方、PTAの役員の方々に感謝申し上げます。県立大学では、その特色を生かし、教師と生徒が身近に向き合っているというお話を聞き、うらやましく思いました。中等もそのような姿になって欲しいと願っております。



新潟大学では、専門的な技術を学ぶのには、とても最適であると思えました。レントゲンの時に、ファントムという本物の人間の骨が使われている物を使って、実習が行われていることを知り、驚きました。新潟高校では、県下一でありながら、当たり前のことを当たり前に行っているだけという先生方の姿勢が生徒に伝わって、文武両道の精神のもと、着実に成果を上げているのであると思えました。各大学、高校の方々が親切に対応してくださり、とてもうれしく思いました。ありがとうございました。

- * 今回、初めての参加でしたので、多少の不安もあったのですが、バスの中での教頭先生のお話や他の保護者の方々との交流など、終始和やかな雰囲気視察を終えることが出来ました。基本的に、進学先は子供自身が決めることだと思っていますが、本人が迷った時に話を聞いてあげられるだけの



知識はつけていたいと思っています。

今の大学事情は、私たちが経験したものとは全く違います。今回の視察先の大学を受験するかどうかはわかりませんが、それでも大学のキャンパスを実際に歩き、施設や設備に触れることで『今の感覚』を感じることが出来たと思います。ただ、私にとっては三校訪問は体力的に厳しく、少し疲れしました。企画してくださった方々には申し訳ないのですが、二校で良かったかなというのが、正直な感想です。今回は貴重で有意義な時間を過ごさせていただき、本当にありがとうございました。企画、手配してくださった先生や役員の皆様にお礼を申し上げます。



- * <新潟県立大学>国際地域学科は、授業が英語で行われ、語学力と国際感覚を持った人材を育成するのに、とても良い環境だと思いました。30年ほど前、バブル全盛の時代、同僚に県短出身の方が多くいましたが、今も主な就職先に、県内のトップクラスの銀行や、県庁などがあるのは素晴らしいです。

<新潟大学医学部保健学科>大学病院に隣接していて、厳かな雰囲気のある旭町キャンパスにありますが、この地から21世紀のチーム医療を担う医療人の育成を期待します。
<県立新潟高校>電子黒板による授業をはじめとして、校舎設備や伝統など全てが素晴らしいです。※昨年、今年とPTA研修視察に参加して、大学についての基本的な理解が深まりました。大変ありがとうございました。

- * 今まで大学内にあまり入ったことがないので、とても興味深く拝見させていただきました。新潟県立大学は施設も新しく、国際性を養うための設備が整えられていると感じました。この点は、我が燕中等の理念であるビー・グローバルに通ずるものがあると思います。また、入学金も抑えられていて、地理的にも県央地域から近いので、是非子供には目標に入れて欲しいと思いました。新潟大学は医療関係の専門技能を身につける施設を見られて興味深かったです。新潟高校はプールや大講堂などあらゆる充実した施設で、のびのびと学べそうでした。電子黒板は、授業のス



ピードがかなり上がりそうです。校長の草間先生も日本の若者の将来を考えておられるようでした

- * 仕事の休みをこの視察旅行にあわせて初めて参加しました。朝から夕方までハードスケジュールな一日だったように思います。研修の一日を振り返ってみて、私は今の学校事情を知らないことに気づかされました。今回視察した学校へ私の子供が志望する、しないに関わらず、親として、子供と一緒に成長するため積極的に学校や教育の今どきにアンテナを張り勉強しなければと感じました。研修後のレポート(感想)を書くのは少々面倒ではありますが、子供と受験を乗り越えていくために、親が出来ることを考えさせられました。この経験はとてもいい研修だったと喜んでます。有壬記念館へ再び行くことができるでしょうか。
- * 訪問先は4年生、1年生の息子の希望学科ではありませんが、先生、参加者の話を聞くことで様々な情報を頂きとても有意義な一日でした。教頭の遠藤先生がカラー刷りのすばらしい資料を用意してくださり、自前学習もナシの私も安心して参加できました。県立大学は、センターと日程が違うので、受験校として視野に入れるカリキュラムがあればと youtube の LTPDub を見てイメージしていました。実際は、カメラの枠が外れてもそのままコンパクトな建物で、国立やぶれてやむなく県立で4年間通う空間には、留学が単位として認められても不向きとわかりました。パンフや外観では、分からない事を確認できた点は良かったです。余談ですが、牧先生がお若いのでビックリでした。PTA 会長の龍道さんをはじめ、企画準備された役員の皆様、大変ありがとうございました。また、遠藤先生の付録つき、特別ガイドつき訪問企画を楽しみにしています。
- * その子、その子の興味、性格、それぞれのお家での親子関係…力具合で、子供と本音で将来について、進学について、話し合えて道筋の出来ている方には何の心配も無いのかも知れませんが、少しでも？悩まれたりされていたならば、お子さんとしっかり話す機会、チャンスになりますから(学校の先生方、保護者で行く一人ではなかなか…)でも見て来た、行って来た…ではとらえ方も、親からのアドバイスにもプラスになると思います。その話から、子供が、その大学や方向に興味を持って OC に足を運んだり、目標として前進してくれたら親も言った甲斐があるでしょうか…。学校の先生方、子供から、周囲から聞くだけで無く、自分の親の目で、ゆっくり見てみる良い機会です。是非、学年に拘らず(早い頃の眼も、準備、心積もりには必要かと)もっと多くの方々に参加して、コミュニケーションもとれたら良い会だと思います。ありがとうございました。
- * 子供の進学希望先として以前から興味があった新潟大学、新潟県立大学が訪問先だったので、初めて参加してみました。バスに乗り込んでまず驚いたのが、遠藤教頭先生お

手製の22ページにもわたる冊子です。各学校の概要から、様々な情報が盛り込まれていました。バス内では教育現場の裏話など、織り交ぜながら、大変興味深い話を聞くことが出来ました。訪問先に到着し、実際に目にしてみると、それぞれの学校の特性や雰囲気を感じることができ、百聞は一見にしかずとは、まさにこのことだなあと思いました。私は、ずっと抱いていた疑問を質問させて頂きましたが、現場の先生が丁寧に返答して下さい、納得することができました。また、他学年の保護者の方々と交流ができ、楽しく参加できたことが、私の一番の収穫となりました。最後に、この視察旅行に携わった先生方ならびにPTAの皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。

* 今回の研修旅行では「様々な環境が生み出すもの」について、よりハッキリと感じる事ができました。足を運ばなければ、知り得なかったことです。

- ① 立地条件による通学・居住環境が生み出す、時間の制約や使い方とその費用負担、駅までの交通手段・電車の乗継や冬場の通学が可能なのか？等、学生の費用負担については保護者の経済力にそのすべてが委ねられると言っても過言では無い。前期課程の保護者の皆様「来たるべき日」の為に、今から直ぐに積立てを始める事をお勧めします。お子さんの「夢の行く先」の一端は皆さんが握っています。
- ② 建物・設備の充実した環境が生み出す、学習できる空間とゆとりの時間。バブル最盛期に建設計画の立てられた新潟高校には、私学？と思える程の学習できる空間が至る所に配置されており、使い勝手の良いアリーナ・自慢の視聴覚ホール・全教室電子黒板設置等、申し分ない環境が整っていた。(この上、生徒はWスクールで予備校等に通うのだから、成績が上がらないはずがない!)一方、県立と国立の違いは有るにせよ、設備投資に巨額の資金投入が出来ない独立法人では、病院からの借り物では無い最新鋭の機器を手に入れる為に、10回もの申請を繰り返した末に念願を叶えている。どれだけの時間が費やされたのだろうと考えると、そのバイタリティーに頭が下がる。
- ③ 少人数クラスの親近感と双方の信頼環境が生み出す、ユニークな授業内容、午前中はAll Englishの授業を行う県立大学の国際地域学科のフォロー教室「SALC」(サルク)には、「英語メンター」なる三人が常駐して、英語学習支援をしてくれる。英語が得意でなくとも、ここで鍛え上げられるから安心。本校にも欲しいですね!「ディメンター」では無く「英語メンター」が。

P T A 研修視察旅行

参加者アンケート 結果報告

1 この研修に参加しようと思った理由を聞かせてください。(最も当てはまる番号に1つ○印)

- ① 視察先の大学が子の進学先として魅力的であったから。 →21%
- ② 大学についての基本的な知識と理解を深めようと思ったから。 → 42%
- ③ 伝統校である新潟高校に興味があった →21%
- ④ 保護者同士の親睦が深まると思ったから。 → 5%
- ⑤ その他
 - チャンスがあれば(仕事のタイミング)参加しようと思っていたから
 - 新潟県内に設置されている大学についてより詳しく知りたいと思ったから
 - いろいろな学校を見てみたいから

2 今回の研修を終えての感想を聞かせてください。(最も当てはまる番号1つに○印)

- ① 2つの大学が子の進学先の候補としてよいと思えた。 →10%
- ② 大学についての基本的な理解が深まった。 →42%
- ③ 伝統校の様子がわかった。 →36%
- ④ 保護者同士の親睦が深まった。 →5%
- ⑤ その他
 - 歩き疲れた。大学の施設の説明がくどすぎた
 - 電子黒板が燕中等に設置されるのはいつなのかと思いました

3 訪問を終えて、もっと知りたいことを聞かせてください。(番号に○印、複数回答可)

<新潟大学・医学部保健学科>

- ① 入学後の学習・研究内容について →63%
- ② 入学後の学費(必要経費)や奨学金などについて →15%
- ③ 卒業後の進路(就職先や進学先など)について →63%
- ④ その他
 - 時間の関係で見学できなかった、放射線技術科学専攻に興味があったので残念だった
 - 時間が足りなくて放射線技術科学の説明を聞きたかった
 - 保護者会、後援会などは学部によって違うのか気になりました
 - 昨年度の薬科大のように学生の様子が見られると良かったです

<新潟県立大学>

- ① 入学後の学習・研究内容について →42%
- ② 入学後の学費（必要経費）や奨学金などについて →10%
- ③ 卒業後の進路(就職先や進学先など)について →73%
- ④ その他
 - わかりやすく説明いただき、学校に雰囲気も伝わって良かった
 - 海外留学時の単位で半年～1年の留学で学校は出席扱いになるのかどうか
 - 留学のため休学したりするのか（留学により、4年で卒業するところ、もう1年留学した分卒業が伸びるのか？）

<新潟高校>

- ① 入学後の学習内容について →57%
- ② 入学後の学費（必要経費）や奨学金などについて →10%
- ③ 卒業後の進路(就職先や進学先など)について →36%
- ④ その他
 - 授業以外の学習について
 - 7割は新大以上に進学してると思いましたが、残りの3割の子供への学習フォローはどうしているのか気になりました。できない子供は予備校？塾？
 - 登校～朝学習や部活日数、時間、内容、練習試合、公式試合、大会等での学習の影響があるか。
 - 授業外ついていけない子のフォローを具体的に呼び出しか、補充課題か？どのようなサポートか疑問だった
 - 入試検定に学力考査が有ることのメリットが大きいことがよくわかった。「生徒数が多い＝教員数が多い」だから学習到達度別または志望大学別にある程度まとまった単位でレベル別指導ができる

4 来年度の計画について、ご意見をください。

(1) 実施時期について(記号に○印)

- ア 4月～7月ころ 15% イ 夏休み期間 10%
 ウ 9月～11月ころ 84% エ その他（ 月ころ）

(2) 日程について(記号に○印)

- ア 午前半日 5% イ 午後半日 0%
 ウ 1日 89% エ 1泊2日 5% オ その他（必要に応じて・特になし）

(3) 行き先・訪問先について(記号に○印)

① 先進校（中高一貫教育校など）

ア 近隣 10% イ 県内 36% ウ 県外 26% エ その他（直江津中等教育学校）

② 大学等

ア 近隣 10% イ 県内 42% ウ 県外 36% エ その他（上越教育大、長岡技科大）

③ 具体的な訪問希望先があれば記入してください。

- 数年前、代ゼミで聞いた「偏差値別学習法」わかり易かったです。”受験生の母”初体験にとっては施設の見学も良いですが「学習法」について学ぶのも親として役立ちました。
- 県外の国公立、私大を訪問したい。先進校の富山県に行きたいです。バスの中で教頭先生が富山の高校の先生は東京大、京大、東工大の先生が多いと聞きました。また、前の講演会で富山県の先生、学校、地域の取り組み、家庭環境等、教育を支える力に直に触れてみたいと思います。
- 新大の他の学部（教育学部）など。長岡技大
- 来年が最後となるので、横浜サイエンスフロンティア高校。慶應義塾（日吉）
- 国際情報高校、長岡高校
- 新潟大学の教育学部
- 子供たちが行っている筑波、東北に行ってみるのが本音ですが、現実を考え、理学部か環境系の大学で、併願できる学費が安く国立並みの安い寮を完備した・・・勉強不足ですみません。テーマは「新大ダメでも、潰しが効く併願先」です。「就職に強い」と言われてる大学で、70社もエントリーさせられる大学があるそうですが、その大学はパスです。
- 以前の訪問で、行っている学校も出て来る・・・とは思いますが、その時に×だった方やもう一度・・・もあるかも知れないので、やはり県内の進学に力を入れている学校は希望します。特色校も。県高では長岡、三条、大手高専、中央など。情報、明訓など
- 開志国際高等学校（胎内）→平成26年4月開校予定の高校。国際教養大学（秋田）→就職率100%授業は全て英語でという学校

《編集後記》

今回の研修旅行で感じたことは、将来の道は一つではないこと。いろいろな人生の岐路にたち、子どもたちに寄り添って進路を考えていくためには家庭も柔軟な視点が必要になる。今回の研修で学年や文理に関係なくいろいろな施設を大勢で見て回れたのは、きっと今後の進路選択の際に役立つはずだ。

子どもに全てを任すのではなく、一緒に悩み、考えることが教師にも求められる。他の学校にあつてうちには足りないものを嘆くより、今の環境で自分たちに何ができるかを考えていくことこそが大切である。(牧)